

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項1】**

5 写真画像サービスを提供する複数のサービス店と、発注端末と、管理サーバとがネットワークにより接続されてなる写真画像サービスシステムであって、

前記サービス店が、該サービス店の所在地域のイベントの写真画像をイベント写真画像として前記管理サーバにアップロードするアップロード手段と、

前記管理サーバからの出力指示に従って、前記イベント写真画像のうち、前記出力指示により指定されたイベント写真画像を出力する出力手段とを有するものであり、

10 前記管理サーバが、前記イベント写真画像と、該イベント写真画像をアップロードしたサービス店の所在地域を特定する地域特定情報とを対応付けて記憶する記憶手段と、

前記発注端末から地域特定情報を受信した際に、該地域特定情報により特定される前記サービス店によりアップロードされた前記イベント写真画像を前記記憶手段から検索する検索手段と、

15 前記検索手段により検索した前記イベント写真画像を前記発注端末に送信する画像公開手段と、

送信された前記イベント写真画像のうち、前記発注端末から送信されてきた画像指定情報により指定されたイベント写真画像を出力する出力指示を所定の前記サービス店へ送信して出力させる出力制御手段とを備えたものであり、

20 前記発注端末が、前記管理サーバにユーザ所望の地域特定情報を送信することによってイベント写真画像の地域を特定する地域特定手段と、

前記管理サーバから送信されてきたイベント写真画像を表示する表示手段と、

該表示手段により表示された前記イベント写真画像から、ユーザにより選択された出力希望のイベント写真画像を特定する情報を前記画像指定情報として前記管理サーバに送信する画像指定手段とを備えたものであることを特徴とする写真画像サービスシステム。

25

【請求項2】

前記イベントが、複数の催物を有し、

前記記憶手段が、前記イベント写真画像と、該イベント写真画像が属する前記催物とを関連付けて記憶するものであり、

30 前記発注端末が、前記管理サーバにユーザ所望の催物を特定する催物特定情報を送信す

る催物特定手段を有し、

前記画像公開手段が、前記検索手段により検索した前記イベント写真画像のうちの、前記催物特定情報により特定される前記催物のイベント写真画像を送信するものであることを特徴とする請求項 1 記載の写真画像サービスシステム。

5 【請求項 3】

前記記憶手段が、前記イベント写真画像の撮影日時と前記催物の実行日時とを用いて前記イベント写真画像と前記催物とを関連付けて記憶するものであることを特徴とする請求項 2 記載の写真画像サービスシステム。

 【請求項 4】

10 前記記憶手段が、前記イベント写真画像の撮影場所と前記催物の実行場所とを用いて前記イベント写真画像と前記催物とを関連付けて記憶するものであることを特徴とする請求項 2 記載の写真画像サービスシステム。

 【請求項 5】

15 前記画像公開手段が、前記イベント写真画像の確認用画像を送信するものであることを特徴とする請求項 1 記載の写真画像サービスシステム。

 【請求項 6】

前記発注端末が、前記画像指定手段により選択されたイベント写真画像を出力するサービス店を選択するサービス店選択手段をさらに備えたものであり、

20 前記管理サーバの前記出力制御手段が、該サービス店選択手段により選択されたサービス店に前記イベント写真画像を出力させるものであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の写真画像サービスシステム。

 【請求項 7】

前記発注端末が、目的被写体の特徴を示す特徴画像を前記管理サーバに送信する被写体特定手段をさらに備え、

25 前記管理サーバが、前記検索手段により検索した前記イベント写真画像のうち、前記発注端末から送信されてきた前記目的被写体の特徴画像に基づいて、該目的被写体が写っているイベント写真画像のみを抽出する抽出手段を備え、

30 前記管理サーバの前記画像公開手段が、前記抽出手段により抽出した前記イベント写真画像のみを前記発注端末に送信するものであることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載の写真画像サービスシステム。

【請求項8】

前記目的被写体が目的人物であり、前記特徴画像が前記目的人物の顔写真画像であることを特徴とする請求項4記載の写真画像サービスシステム。

5

10

15

20

25

30

【書類名】 明細書

【発明の名称】 写真画像サービスシステム

【技術分野】

- 5 本発明は、写真画像サービス、具体的には地域に密着したイベント等の写真画像を所望のユーザに提供するサービスシステムに関するものである。

【背景技術】

- 10 インターネットの普及に伴って、自宅に居ながらパーソナルコンピュータ（以下略してパソコンという）を用いてネット上のサーバにアクセスして買物したり、銀行手続きをしたりするなど、様々なネット注文が盛んに行われている。また、近年、携帯電話などの携帯端末が急激に普及しつつあり、携帯端末をパソコンのように用いてインターネットなどのネット上のサーバにアクセスしてネット注文することも日常的になっている。さらに、近年、インターネットテレビの登場に伴って、テレビの特定チャンネルを利用して様々なサービスを提供するシステムも実用化しつつある。

- 15 これらのシステムの中で、写真画像に関するサービスを提供するものとしては、例えば、ユーザが撮影した写真画像をデジタル化して画像サーバに蓄積したり、CD-Rなどの記録媒体に記録してユーザに提供したり、画像サーバに蓄積された写真画像の焼増し注文サービスを、ネットワークを介して提供したりするなど種々のシステムが知られている。例えば、ユーザがインターネットなどのネットワークを介して自分の画像データを業者により提供されるサーバに送信し、サーバがユーザから送信されてきた画像データを保管すると共に、保管中の画像データに対するプリント注文を受け付けて、プリント受注サービスを提供するシステム（例えば特許文献1参照）のように、ユーザが自分の画像データをネットワーク上のサーバに保管させると共に、保管中の画像データに対するプリントの注文を行うことができるシステムが知られている。これらのシステムにおいては、サーバが受け付けたプリント注文の内容（プリントする画像、プリントサイズなど）をさらに実際にプリントを行うラボなどに送信してプリントさせることが可能である。なお、実際にプリントを行うラボと、画像データの保管およびプリント受注サービスを提供するサーバとは、同じ業者により提供される場合もあれば、別々の業者により提供される場合もある。

- 30 一方、地理的な原因や、時間的な原因などで、ユーザ自身により写真画像を取得するのは困難な場合がある。このような場合に対応し、例えば、サッカーのワールドカップの写

真画像をネット上で公開し、ユーザが公開された写真画像から所望のものを選択してプリント依頼したり、記録媒体に記録した態様で提供してもらったりするシステムも実際に運用されている。このようなシステムを利用して、ユーザは自分自身では取得困難な写真画像も入手することができる。また、このようなシステムにおいて提供される写真画像は、

5 プロのカメラマンにより取得されるものであるので、ユーザ自身によって撮影できる場合においても、自分の撮影した写真画像より高品質な写真画像を得ることができる。

【特許文献1】

特開2002-149790号公報

【発明の開示】

10 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述のようなプロのカメラマンなどにより取得した高品質の写真画像をユーザに提供するシステムは、国ないし世界的なレベルの大規模なイベントを対象としたものであり、限られた地域に行われた小規模のイベント、例えば、子供の学校の運動会や、町内会の祭りなどの場合は、通常、関係者（子供の親、友達同士など）によって出場者の

15 撮影を行い、撮影場所の確保などに大変な労力を費やさなければならぬというのに、素人による撮影であるので、良質な写真画像を得るのも困難である。そのため、例えばイベントの主催者により、地元の写真店などに依頼して撮影をしてもらい、写真店は、撮影して得た写真画像をプリントアウトし、関係者同士はプリントを回覧して焼増しを注文することによって自分の欲しい写真画像を取得することが行われている。この方法では、関係者以外

20 外の人は、写真画像を取得することができないという問題がある。写真店としても、事実上、依頼を受けた写真店しか撮影、焼増しなどのサービスを行うことができないので、写真店間の競争がなく、ユーザの選択の自由度もないという問題がある。

また、例えば遠く離れた孫の小学校の運動会の写真が欲しい場合、子供から送られて来る写真をあてにするしかないため、不便である。また、そのような地域に限られたイベントは、個人のウェブページで写真が公開されることがあるとしても、検索が難しく、写真画像の品質も保証できない。また、地域の写真店自体によってネット上で写真画像を公開すると共に、プリント受注を行う方法では、システムの構築、メンテナンスなどにコストがかかり、写真店の負担が大きいため、現実的ではない。

25

本発明は上記事情に鑑みなされたものであり、地域で行われた小規模のイベント等の写真画像を効率よく所望のユーザに提供することができる写真画像サービスシステムを提供

30

することを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

本発明の写真画像サービスシステムは、写真画像サービスを提供する複数のサービス店と、発注端末と、管理サーバとがネットワークにより接続されてなる写真画像サービスシステムであって、

前記サービス店が、該サービス店の所在地域のイベントの写真画像をイベント写真画像として前記管理サーバにアップロードするアップロード手段と、

前記管理サーバからの出力指示に従って、前記イベント写真画像のうち、前記出力指示により指定されたイベント写真画像を出力する出力手段とを有するものであり、

前記管理サーバが、前記イベント写真画像と、該イベント写真画像をアップロードしたサービス店の所在地域を特定する地域特定情報とを対応付けて記憶する記憶手段と、

前記発注端末から地域特定情報を受信した際に、該地域特定情報により特定される前記サービス店によりアップロードされた前記イベント写真画像を前記記憶手段から検索する検索手段と、

前記検索手段により検索した前記イベント写真画像を前記発注端末に送信する画像公開手段と、

送信された前記イベント写真画像のうち、前記発注端末から送信されてきた画像指定情報により指定されたイベント写真画像を出力する出力指示を所定の前記サービス店へ送信して出力させる出力制御手段とを備えたものであり、

前記発注端末が、前記管理サーバにユーザ所望の地域特定情報を送信することによってイベント写真画像の地域を特定する地域特定手段と、

前記管理サーバから送信されてきたイベント写真画像を表示する表示手段と、

該表示手段により表示された前記イベント写真画像から、ユーザにより選択された出力希望のイベント写真画像を特定する情報を前記画像指定情報として前記管理サーバに送信する画像指定手段とを備えたものであることを特徴とするものである。

ここで、「イベント写真画像」とは、各種イベント等に関する写真画像のデジタル画像データのことを意味し、イベント中に撮影して得た、イベントの進行内容そのもの（例えば小学校の運動会の表彰式の写真画像）を主とするが、このイベントに関するいかなるもの（例えば、運動会が行われた小学校の周囲の風景の写真画像や、往年の表彰式の写真画像など）も含むものとする。また、イベント写真画像は、デジタルカメラにより撮影し

た得たデジタル画像データであってもよいし、フィルムに撮影して得た写真画像をスキャナーなどによってデジタル化して得た画像データであってもよい。

また、サービス店に備えられた「出力手段」とは、サービス店により提供されるサービスに応じて、写真画像をプリントするプリンタなどは勿論、写真画像をCD-Rなどの記録媒体に記録する記録機器（例えばコンピュータ）も含むものである。

また、「地域特定情報」とは、イベント写真画像をアップロードしたサービス店の所在地域を特定することができるものであればいかなる情報であってもよく、例えば、市町村の地名そのものであってもよいし、郵便番号や、電話番号などであってもよい。さらに、発注端末から管理サーバに送信される地域特定情報から管理サーバの記憶手段に記憶されたサービス店の所在地域を特定することができれば、発注端末から送信される地域特定情報と、管理サーバの記憶手段にサービス店と対応付けて記憶された地域特定情報とは必ずしも同じ形式である必要はない。例えば、管理サーバの記憶手段において、サービス店の地域特定情報として市町村の地名であるが、発注端末からの地域特定情報は郵便番号であってもよい。この場合、管理サーバの検索手段に、郵便番号から市町村の地名に変換する変換手段を設ければよい。

また、例えば「某小学校の運動会」というイベントは、「開会式」、「玉入れ」、「綱引き」・・・「表彰式」・・・などのプログラム（以下催物という）からなるように、通常、1つのイベントが複数の催物を有する。本発明の写真画像サービスシステムは、前記記憶手段が、前記イベント写真画像と、該イベント写真画像が属する前記催物とを関連付けて記憶するものであり、前記発注端末が、前記管理サーバにユーザ所望の催物を特定する催物特定情報を送信する催物特定手段を有し、前記画像公開手段が、前記検索手段により検索した前記イベント写真画像のうちの、前記催物特定情報により特定される前記催物のイベント写真画像を送信するものであることが好ましい。

この場合、前記記憶手段は、催物1：画像1、画像2、・・・、催物2：画像1、画像2、・・・のように前記イベント写真画像と前記催物とを直接関連付けて、すなわちグループ分けして記憶するようにしてもよく、前記イベント写真画像の撮影日時と前記催物の実行日時とを用いて前記イベント写真画像と前記催物とを関連付けて記憶したり、前記イベント写真画像の撮影場所と前記催物の実行場所とを用いて前記イベント写真画像と前記催物とを関連付けて記憶したりするようにしてもよい。

なお、イベント写真画像と該イベント写真画像の属する催物とは、結果的に管理サーバ

の記憶手段に関連付けて記憶されていればよく、実際の関連付けの操作は管理サーバにより自動的に行われたり、管理サーバの操作者によって手動で行われたり、サービス店からイベント写真画像をアップロードする際に行われたりするなどいかなる態様であってもよい。例えば、サービス店が、イベント写真画像と催物とを関連付けてアップロードし、記憶手段はアップロードされてきた画像データをそのまま記憶するようにしてもよい。また、サービス店が、イベント写真画像と、催物の実行時間（イベントプログラム）とを管理サーバにアップロードし、管理サーバ側において、イベント写真画像のデータのタグ情報を読み取ることによって撮影時間を取得し、この撮影時間と催物の実行時間とを用いてイベント写真画像と催物とを関連付けるようにしてもよい。また、近年の撮像装置の機能向上に伴ってGPS機能付きの撮像装置が普及している背景において、写真画像のタグ情報に撮影場所を示す情報が含まれていることを利用して、管理サーバ側において、写真画像のタグ情報を解析し、同じ撮影場所の写真画像を同じ場所に実行される催物の写真画像とするようにしてイベント写真画像と催物とを関連付けるようにしてもよい。

また、発注端末の催物特定手段により送信される催物特定情報は、イベント写真画像と催物との関連付けに用いられた催物の実行時間、実行場所などを用いることができるが、これらに限られることがなく、催物名など前記検索手段に催物を特定させることができる情報であれば、いかなるものであってもよい。

本発明の管理サーバの画像公開手段により発注端末に送信するイベント写真画像は、オリジナルのイベント写真画像の確認用画像であることが好ましく、「確認用画像」とは、オリジナル画像のイメージを確認することができるが、オリジナルのイベント写真画像より画質が劣るものを意味し、画像サイズを縮小したものや、間引き画像など解像度を低くした画像、部分的にモザイクを施した画像、画質に影響を与える他の画像（例えば「サンプル画像」の文字、サービス店のマーク）を合成したものなどであってもよい。なお、確認画像は、管理サーバにおいて作成されるようにしてもよく、各々のサービス店において作成され、管理サーバにアップロードするようにしてもよい。

本発明の写真画像サービスシステムにおいて、管理サーバの出力制御手段は、ユーザが発注端末を介して選択したイベント写真画像を出力する出力指示を所定のサービス店に送信して出力させるものであるが、この「所定のサービス店」は、選択されたイベント写真画像をアップロードしたサービス店に限られるものではなく、例えば、発注端末に、イベント写真画像を出力するサービス店を選択するサービス店選択手段を設け、管理サーバの

出力制御手段により、サービス店選択手段を介してユーザが選択したサービス店にイベント写真画像を出力させるようにしてもよい。なお、発注端末のサービス店選択手段は、ユーザ所望のサービス店を特定する情報を管理サーバに知らせることができるものであればいかなる態様であってもよい。例えば、キーボードなどの入力手段をサービス店選択手段として用い、ユーザが所望のサービス店の店名や、地域特定情報などを直接入力し、管理サーバにおいて、ユーザが入力した情報に合致するサービス店に出力させるようにしてもよいし、管理サーバにおいて、各々のサービス店を特定する情報（店名、地域など）を発注端末に送信し、ユーザが送信されてきた情報から所望のサービス店を選択するようにしてもよい。

- 10 本発明の写真画像サービスシステムにおける前記発注端末は、目的被写体の特徴を示す特徴画像を前記管理サーバに送信する被写体特定手段をさらに備え、

前記管理サーバは、前記検索手段により検索した前記イベント写真画像のうち、前記発注端末から送信されてきた前記目的被写体の特徴画像に基づいて、該目的被写体が写っているイベント写真画像のみを抽出する抽出手段を備え、

- 15 前記管理サーバの前記画像公開手段は、前記抽出手段により抽出した前記イベント写真画像のみを前記発注端末に送信するものであることが好ましい。

ここで、「特徴画像」とは、目的被写体の特徴を現すことができる画像のことを意味し、たとえば、運動会の場合には、氏名と番号が書かれたゼッケンの画像や、特別な模様を有する靴下や、赤い帽子などの画像などを例として挙げることができる。

- 20 また、特徴画像は1つに限らず、複数用いてもよく、その場合、複数の写真画像により夫々の目的被写体を特定し、これらの目的被写体のうちのいずれか1つ写っているイベント写真画像を提供してもらうようにしてもよいし、全ての目的被写体が写っているイベント写真画像のみを提供してもらうようにしてもよい。

- 25 また、目的被写体が人物（目的人物）である場合、特徴画像として該目的人物の顔画像を用いることが好ましい。

- また、本発明の写真画像サービスシステムにおいて、サービス店、管理サーバおよび発注端末の夫々は、それを構成する各々の手段が同じ筐体に納まる必要がなく、協働することによって該当する機能を果たすことができれば別々の筐体に存在してもよい。例えば、管理サーバの記憶手段と検索手段とは、同じコンピュータにより実現されてもよく、データの送受信ができる別々のコンピュータにより実現されるようにしてもよい。また、発注
- 30

端末の表示手段と被写体特定手段とも同じ筐体に納まるものである必要がなく、例えば、表示手段はテレビのモニタである一方、被写体特定手段は、通信可能な撮像装置、例えばカメラ付携帯電話機であるようにしてもよい。

【発明の効果】

- 5 本発明の写真画像サービスシステムによれば、各々のサービス店は自身所在の地域のイベント写真画像を管理サーバにアップロードし、管理サーバは、イベント写真画像とこのイベント写真画像をアップロードしたサービス店の地域特定情報とを関連付けて記憶すると共に、ユーザが発注端末を介して地域特定情報を送信してきた際に、この地域特定情報により特定されるサービス店によりアップロードされたイベント写真画像を発注端末に送信することにより公開すると共に、ユーザが発注端末を介して選択したイベント写真画像を出力する出力指示をサービス店に送信して出力させるようにしているの、地元のユーザが勿論、遠隔地のユーザも所望するイベントが行われた地域の地域特定情報を、発注端末を用いて入力するだけで、その地域のイベント写真画像を閲覧することができると共に、プロのカメラマンにより取得した高品質のイベント写真画像をプリント注文したり、記録媒体に記録して提供してもらったりすることができ、便利である。
- 10 15

また、各サービス店が自分自身によりサーバなどの構築をせずに、所在地域のイベントの写真画像を取得して管理サーバにアップロードするだけで、ユーザからの注文を受けることが可能となるので、サービス店にとっても便利であり、効率が良い。

- また、1つのイベントは通常複数の催物を有するため、管理サーバは、1つのイベントの写真画像を一度に全部発注端末に送信して表示させるのではなく、イベント写真画像とこのイベント写真画像の属する催物とを関連付けて記憶し、発注端末からの催物特定情報により特定される催物のイベント写真画像を発注端末に送信して表示させるようにすれば、ユーザにとってより使い勝手が良い。
- 20

- また、イベント写真画像と催物との関連付けの形態として、イベント写真画像の撮像時間と催物の実行時間とを関連付けるようにすれば、特に小学校の運動会など、限られた場所で時間順に各々の催物が開催されるイベントの場合において、利用しやすいサービスを提供することができる。例えば、イベントを構成する各々の催物名をイベントプログラムとして発注端末に送信すると共に、発注端末を介してユーザにより指定された催物のイベント写真画像のみを表示させるようにすれば、ユーザは多数のイベント写真画像から自分の関心のあるイベント写真画像を探す必要がなく、便利である。
- 25 30

また、イベント写真画像と催物との関連付けの形態として、イベント写真画像の撮像場所と催物の実行場所とを関連付けるようにすれば、祭りなど、異なる場所で各々の催物が開催されるイベントの場合において、大変利用しやすいサービスを提供することができる。例えば、祭りを開催する町の地図を発注端末に送信すると共に、発注端末を介してユーザにより指定された場所の催物のイベント写真画像のみを表示させるようにすることができ、ユーザにとっては便利である。

本発明の写真画像サービスシステムにおいて、管理サーバによりイベント写真画像を公開する際に、イメージを確認することができるが、オリジナルのイベント写真画像より画質が劣る確認用画像を発注端末に送信するようにすれば、発注端末のユーザがオリジナルのイベント写真画像をダウンロードして取得する一方、料金を支払わないなどの不正を防ぐことができ、サービス店を保護することができる。

また、本発明の写真画像サービスシステムにおいて、ユーザがイベント写真画像を出力するサービス店を選択することができるようにすることによって、イベント写真画像をアップロードしたサービス店とは異なるサービス店を、出力するサービス店として選択することができ、ユーザにとっては便利である。例えば、東京に住むAさんが北海道のA小学校の運動会のイベント写真画像のプリントが欲しい場合、管理サーバにA小学校の所在地の郵便番号を送信すれば、A小学校の所在地域のサービス店によりアップロードされたA小学校の運動会のイベント写真画像を閲覧し、その中から所望のイベント写真画像を選択すると共に、プリントするサービス店としては自分の現住居に近い東京のサービス店を選択すれば、東京のサービス店からプリントを受け取ることができる。この場合、管理サーバにおいて、イベント写真画像の著作権を、該イベント写真画像をアップロードしたサービス店に付与して管理し、プリントを行ったサービス店が著作権を有するサービス店に著作権代を支払うようにすれば、プリントを行ったサービス店がプリント代を、イベント写真画像をアップロードしたサービス店が著作権代を支払われるので、ユーザ、イベント写真画像を提供したサービス店、プリントなどの出力を行ったサービス店の3者ともメリットがあるので、サービスの活性化を図ることができる。さらに、イベント写真画像の出力を依頼するサービス店と、このイベント写真画像をアップロードしたサービス店と同じサービス店を選択すれば料金の割引を設けるなど、サービスの多様性およびユーザの選択性を向上させることもできる。

また、本発明の写真画像サービスシステムにおいて、管理サーバは発注端末から送信さ

れてきた目的被写体の特徴画像に基づいて、この目的被写体が写っているイベント写真画像のみを抽出して発注端末に公開するようにすれば、ユーザが目的被写体が写っている写真のみを提供されるので、多量なイベント写真画像から目的被写体が写っている写真画像を探す必要がない。例えば、運動会の場合には、自分の子供のゼッケン（氏名と番号が書かれたもの）や、特殊の色柄を有する靴下などを特徴画像として管理サーバに送信すれば、管理サーバからはこのゼッケンまたは靴下が写ったイベント写真画像のみを提供されるので、自分の子供の写真のみを取得したい親などにとっては便利である。また、例えば祭りの場合には、祭りのクライマックスのときのイベント写真画像を探すために、クライマックスとなる催物が行われた場所（寺院などその場所にある建物など）の画像を特徴画像として管理サーバに送信すれば、目的のイベント写真画像を簡単に探すことができる。

また、顔写真画像を目的人物の特徴画像として用いることは、ユーザにとって便利な場合が多い、例えば、遠く離れた地域に住む祖父母は、孫が運動会の時に身に付けた物、学校の建物などの画像よりも、孫の顔写真画像を所持している可能性が高いので、孫の写真画像を特徴画像として用いることによって孫が写っている運動会のイベント写真画像を便利に入手することができる。また、従来、イベントに参加するユーザは自分で自分の写真を撮ることができないため、事前に友人などに頼んで撮影してもらわなければいけなかった。他の知らない人が撮影した写真画像に自分が写っているとしても入手することができなかった。本発明の写真画像サービスシステムによれば、イベントに参加したユーザは自分の顔写真画像を特徴画像として管理サーバに送信することによって、公開されたイベント写真画像から、自分が写っている写真を入手することができ、大変便利である。

【発明を実施するための最良の形態】

以下、図面を参照して、本発明の実施形態について説明する。

図1は、本発明の実施形態となるプリントシステムの構成を示すブロック図である。図示のように、本実施形態のプリントシステムは、各自所在地域のイベント写真画像を後述する管理サーバ100にアップロードすると共に、管理サーバからの出力指示に従って写真画像のプリントを行う複数のラボ1と、ユーザが管理サーバ100を介してイベント写真画像のプリントの発注を行う発注端末となるインターネットテレビ機50と、各々のラボ1からアップロードされたイベント写真画像を保管すると共に、これらのイベント写真画像に対して、ユーザがインターネットテレビ機50を介して行ったプリント注文を受け付けると共に、プリント注文の内容に従ってラボ1に出力指示を送信してイベント写真画

像のプリントを行わせる管理サーバ100とからなる。ラボ1と、インターネットテレビ機50と、管理サーバ100とはインターネット200を介して接続される。

図2は、図1に示すプリントシステムにおけるラボ1の構成を示すブロック図である。図示のように、ラボ1は、コンピュータ20とプリンタ30とを備えたものであり、コンピュータ20は、管理サーバ100と通信を行うための通信部10と、イベント写真画像を入力する画像入力部2と、入力されたイベント写真画像を保存する記憶部4と、記憶部4に保存されたイベント写真画像を、通信部10を介して管理サーバ100にアップロードさせたり、通信部10を介して受信した出力指示に従ってプリンタ30にイベント写真画像のプリントを行わせたりすると共に、プリントの内容に応じて後述する課金処理部8に課金処理を行わせる制御部6と、制御部6の制御に従って課金処理を行う課金処理部8とを備えてなり、プリンタ30は、制御部6の制御に従ってイベント写真画像のプリントを行うものであり、コンピュータ20とは直接接続されたものであってもよいし、LANなどによって接続されたものであってもよい。

画像入力部2は、ラボ1の所在地域に行われたイベントの写真画像をコンピュータ20に取り込むものであり、写真フィルムに撮影した画像をデジタル化するスキャナや、デジタルカメラにより撮影したデジタル画像を読み込むためのハードウェアインターフェースおよびソフトウェアなどから構成される。

管理サーバ100からの出力指示は、ユーザが選択したイベント写真画像およびプリントするサイズや、枚数などプリントするのに必要な情報以外に、このユーザの連絡先などの情報、イベント写真画像をアップロードしたラボ1の情報も含まれたものである。課金処理部8は、プリントした内容（プリント枚数、サイズなど）に基づいてユーザに課金する処理を行うものであり、プリントするイベント写真画像が他のラボ1によりアップロードされたものである場合、他のラボ1に著作権代金の支払う処理も行うものである。

図3は、図1に示すプリントシステムにおける管理サーバ100の構成を示すブロック図である。図示のように、本実施形態のプリントシステムにおける管理サーバ100は、ラボ1およびインターネットテレビ機50と通信を行うための通信部105と、ラボ1およびインターネットテレビ機50を介してアクセスしてきたユーザの認証を行うための認証部110と、ユーザ情報（名前、住所、電話番号、ユーザID、パスワードなど）を記憶したユーザDB112と、ラボ1の情報（住所、電話番号、ラボID、パスワードなど）を記憶したデータベースラボDB114と、ラボ1からアップロードされたイベント写真

画像をラボ1毎に記憶する画像保管部120と、インターネットテレビ機50から送信されてきた郵便番号に基づいて、該郵便番号が示す地域と合致する住所を有するラボ1からアップロードされたイベント写真画像を画像保管部120から検索する画像検索部125と、インターネットテレビ機50から顔写真画像が送信されてきた場合に、画像検索部125により検索したイベント写真画像のうち、送信されてきた顔写真画像の人物が写っているもののみを抽出する抽出部128と、画像検索部125により検索したイベント写真画像（顔写真画像が送信されてこなかった場合）または抽出部128により抽出されたイベント写真画像（顔写真画像が送信されてきた場合）に対して縮小処理を施して得た縮小画像および各ラボ1の情報を、通信部105を介してインターネットテレビ機50に送信する画像公開部130と、インターネットテレビ機50において、ユーザが画像公開部130から送信されてきた公開用画像およびラボ1の情報から選択したプリントしたい画像およびラボ1を示す情報に基づいて、選択された縮小画像のオリジナル画像をプリントする出力指示を作成すると共に、作成した出力指示をユーザにより選択されたラボ1に送信してプリントを行わせる出力制御部140と、出力指示の内容に従って課金処理を行う課金処理部150とを備えてなるものである。ここで、管理サーバ100の課金処理部150は、プリントされるイベント写真画像をアップロードしたラボ1およびプリントを行うラボ1の夫々に対して手数料の課金処理を行うものである。

図4は、図1に示すプリントシステムにおけるインターネットテレビ機50の構成を示すブロック図である。図示のように、インターネットテレビ機50は、テレビ機50の全体の制御操作や、入力操作などを行うリモートコントローラ（以下略してリモコンという）70と、管理サーバ100と通信を行うための通信部55と、テレビモニタである表示部60と、外部から取り入れた画像などを記憶する記憶部65とを備えたものである。なお、ここでは、記憶部65には、目的人物（例えば家族全員）の夫々の顔写真画像が予め取り込まれているとする。

次いで、図5、図6のフローチャートを利用して、本実施形態のプリントシステムの動作をより具体的に説明する。

まず、ラボ1から管理サーバ100にイベント写真画像をアップロードする際のラボ1および管理サーバ100の動作を説明する。図5に示すように、ラボ1からイベント写真画像をアップロードする際に、まず、コンピュータ20から管理サーバ100にアクセスして（S10、S100：Yes）、認証処理を行う（S15、S105）。ここで、認証

処理は、既に登録済みのラボと未登録のラボとによって異なる。未登録のラボ1に対して、管理サーバ100の認証部110は、ラボ1の住所、電話番号などを入力させ、パスワードの設定や、ラボIDの付与をすると共に、住所、電話番号、ラボID、パスワードなどの情報をラボDB114に記憶させ、既に登録済みのラボ1に対して、ラボIDとパスワードの入力を促して認証を行う。認証処理（登録処理を含む）が終了すると、ラボ1は管理サーバ100へイベント写真画像のアップロードを行って処理を終了する（S20）。一方、管理サーバ100は、ラボ1からアップロードしてきたイベント写真画像を受信して（S110）、ラボ1のラボIDと対応付けて画像保管部120に保存させる（S115）ことをもって、処理を終了する。なお、ここでは、画像保管部120は、図7に示すように、各ラボに対してイベント別にイベント写真画像を保管する。

ステップS50からステップS75まではインターネットテレビ機50を用いてプリント注文を行う処理を示しており、ステップS120からステップS155まではプリント受注処理を行う管理サーバ100の動作を示している。図示のように、ユーザがプリント注文を行うのに当たって、インターネットテレビ機50のリモコン70を用いてチャンネルを管理サーバ100により提供されるチャンネルに切り替えることによって管理サーバ100にアクセスする（S50、S100：No）と、管理サーバ100の認証部110によりユーザ認証処理が行われる（S55、S120）。ユーザ認証処理は、ラボ1に対して行われた認証処理と同じように、既に登録済みのユーザと未登録のユーザとによって異なる。未登録のユーザに対して、管理サーバ100の認証部110は、ユーザの住所、電話番号などを入力させ、パスワードの設定や、ユーザIDの付与をすると共に、住所、電話番号、ユーザID、パスワードなどの情報をユーザDB112に記憶させ、既に登録済みのユーザに対して、ユーザIDとパスワードの入力を促して認証を行う。認証処理（登録処理を含む）が終了すると、管理サーバ100の画像検索部125は、インターネットテレビ機50に所望するイベント写真画像の地域の郵便番号の入力および目的人物の顔写真画像の送信をする旨のメッセージを送信することによって、テレビ機50の表示部60にこのメッセージを表示させる（S125）。ユーザが表示部60により表示されたメッセージに従って、リモコン70を用いて所望する地域の郵便番号を入力する。なお、この場合、顔写真画像も送信するなら、リモコン70を用いて記憶部65に記憶された顔写真画像から目的人物の顔写真画像を選択して送信すればよく、顔写真画像を送信しない場合は、郵便番号だけを入力して管理サーバ100に送信する（S60）。管理サーバ100の画像

検索部125は、テレビ機50から送信されてきた郵便番号に基づいて、ラボDB114を参照して該郵便番号と合致する住所を有するラボ1のラボIDを検索すると共に、画像保管部120から検索したラボIDと対応付けて記憶されたイベント写真画像を読み出す(S130)。ここで、テレビ機50から顔写真画像が送信されてきていなければ(S135:No)、画像検索部125は、ステップS130において読み出したイベント写真画像を画像公開部130に出力するが、顔写真画像が送信されてきていれば(S135:Yes)、画像検索部125は、読み出したイベント写真画像を抽出部128に出力する。抽出部128は、画像検索部125から出力されてきたイベント写真画像に対して顔抽出処理を行うと共に、抽出した顔の画像と、送信されてきた顔写真画像とパターンマッチングを行うことによって、送信されてきた顔写真画像の人物(目的人物)が写っているイベント写真画像を特定して画像公開部130に出力する(S140)。画像公開部130は、画像検索部125または抽出部128から出力されてきたイベント写真画像に対して縮小処理を行って得た縮小画像をテレビ機50に送信し(S145)、テレビ機50の表示部60は、送信されてきた縮小画像を表示する(S65)。ユーザがリモコン70を用いて、表示された縮小画像からプリントしたい画像を選択して管理サーバ100に返送する(S70)。管理サーバ100の画像公開部130は、次いで各ラボ1の所在地情報などをラボDB114から読み出してテレビ機50に送信して、プリントするラボの選択をユーザに行わせる(S150、S75)。ここで、画像公開部130は、生成した縮小画像に対して何も加工しないままテレビ機50に送信するようにしてもよいが、ユーザの選択の便宜上から例えば図8(a)、図8(b)のように階層的にアレンジして送信して表示させるようにすることが望ましい。すなわち、まず、ユーザに該当する地域のイベントを選択させ(図8(a))、次に選択されたイベントの中の写真画像を選択させる(図8(b))ようにする。なお、図示していないが、プリントする枚数、サイズなどの設定も画像を選択すると共に行うようにされている。ラボの情報としては、例えば図8(c)のようにレイアウトして表示させるようにする。

プリントするラボの選択(S75)が終了すると、テレビ機50側の処理が終了するが、管理サーバ100の出力制御部140は、ユーザがテレビ機50において選択した画像をプリントする出力指示を作成すると共に、作成した出力指示をユーザが選択したラボ1に送信してプリントを行わせる。同時に、課金処理部150は、選択された画像をアップロードしたラボ1およびプリントを行うラボ1両方に対して手数料の課金処理を行う(S1

5 5) ことをもって、管理サーバ100側の処理も終了する。なお、出力指示の内容は、プリントを依頼したユーザの情報（住所、電話番号など）、該ユーザが選択した縮小画像に対応するオリジナルのイベント写真画像およびプリントの枚数、サイズ、プリントされるイベント写真画像をアップロードしたラボ1の情報（住所、電話番号など）などから構成される。

図6は、ラボ1が管理サーバ100から出力指示を受信し、プリントを行う処理を示すフローチャートである。図示のように、ラボ1のコンピュータ20の通信部10を介して管理サーバ100からの出力指示を受信する（S200）と、制御部6は、出力指示に含まれたイベント写真画像を、同じく出力指示に含まれたプリント枚数、サイズなどでプリンタ30に印刷させ、プリントを得ると共に、ラボ1の課金処理部8は、出力指示に含まれたユーザの情報に対してプリント代金の課金処理を行う（S250）。なお、プリントしたイベント写真画像が、他のラボ1によりアップロードされたものである場合、課金処理部8は、該当する他のラボ1に著作権代金を支払う処理も行う。

図9は、本発明の他の実施形態となるプリントシステムの構成を示すブロック図である。なお、本実施形態のプリントシステムは、通常、1つのイベントが複数の催物を有することを配慮して、図1に示す実施形態のプリントシステムをより便利に利用可能にしたものであるため、ここでは、図1に示す実施形態のプリントシステムと異なる構成についてのみ詳細な説明をし、図1に示す実施形態のプリントシステムと同様な構成については、同じ符号を付与すると共に、その詳細な説明を省略する。図9に示すように、本実施形態のプリントシステムは、各自所在地域のイベント写真画像を後述する管理サーバ100aにアップロードすると共に、管理サーバ100aからの出力指示に従って写真画像のプリントを行う複数のラボ1aと、ユーザが管理サーバ100aを介してイベント写真画像のプリントの発注を行う発注端末となるインターネットテレビ機50と、各々のラボ1aからアップロードされたイベント写真画像を保管すると共に、これらのイベント写真画像に対して、ユーザがインターネットテレビ機50を介して行ったプリント注文を受け付けると共に、プリント注文の内容に従ってラボ1aに出力指示を送信してイベント写真画像のプリントを行わせる管理サーバ100aとからなる。ラボ1aと、インターネットテレビ機50と、管理サーバ100aとはインターネット200を介して接続される。

図10は、図9に示す実施形態のプリントシステムにおけるラボ1aの構成を示すブロック図である。図示のように、ラボ1aは、コンピュータ20aとプリンタ30とを備え

たものであり、コンピュータ20aは、管理サーバ100aと通信を行うための通信部10と、イベント写真画像を入力する画像入力部2aと、入力されたイベント写真画像を保存する記憶部4aと、記憶部4aに記憶されたイベント写真画像を、通信部10を介して管理サーバ100aにアップロードさせたり、通信部10を介して受信した出力指示に従ってプリンタ30にイベント写真画像のプリントを行わせたりすると共に、プリントの内容に応じて後述する課金処理部8に課金処理を行わせる制御部6aと、制御部6aの制御に従って課金処理を行う課金処理部8とを備えてなり、プリンタ30は、制御部6aの制御に従ってイベント写真画像のプリントを行うものであり、コンピュータ20aとは直接接続されたものであってもよいし、LANなどによって接続されたものであってもよい。

- 10 画像入力部2aは、ラボ1aの所在地域に行われたイベントの写真画像をコンピュータ20aに取り込むと共に、イベントのプログラム（イベントを構成する各催物の名前、実行時間）、および各々のイベント写真画像が属する催物の入力も行うものである。画像の取り込むは、写真フィルムに撮影した画像をデジタル化するスキャナや、デジタルカメラにより撮像したデジタル画像を読み込むためのハードウェアインターフェースおよびソフトウェアにより行われ、イベントのプログラムなどの入力は、キーボードなどの入力デバイスにより行われる。

- 例えば「A小学校の運動会」というイベントに対して、画像入力部2aは、画像1、画像2、・・・画像150との150枚のイベント写真画像をコンピュータ20aに取り込むと共に、図示しないキーボードなどの入力デバイスにより、この運動会のプログラム（9：00～9：30：開会式、9：30～10：00：玉入れ、・・・、15：00～15：20：退場）と、各々のイベント写真画像が属する催物（画像1～画像15：開会式、画像16～画像34：玉入れ、・・・、画像140～画像150：退場）を示すデータを入力する。

- 25 ラボ1aの記憶部4aは、画像入力部2aにより入力されたイベント写真画像を催物毎に記憶すると共に、イベントのプログラムも記憶する。図11は、図10に示すラボ1aにおける記憶部4aにより記憶された1つのイベントに関するデータの例を示している。図11に示すように、1つのイベントに対して、ラボ1aのコンピュータ20aの記憶部4aは、イベント写真画像をイベントの催物に対応して記憶すると共に、イベントのプログラムも記憶する。以下イベントのプログラムを示すデータ（図11（a））をデータAとし、催物に対応付けられたイベント写真画像（図11（b））をデータBとして説明をする。

ここで、データAとデータB両方とも、コンピュータ20aの操作者などにより画像入力部2aを介して手動で入力するようにしているが、例えば、写真画像のタグ情報などに撮影の日時情報が付属されていることを利用し、イベントのプログラムを示すデータAのみを手動で入力し、画像入力部2aは、取り込まれたイベント写真画像（上述の例では、
5 150枚の写真画像）のタグ情報に含まれた撮影日時情報とデータAにより示されるプログラムとに基づいて、各々の写真画像が属する催物を判別して自動的にデータBを作成するようにしてもよい。

制御部6aは、1つのイベントのイベント写真画像をアップロードさせる際に、このイベント写真画像のデータBと共に、イベントのプログラムを示すデータAも画像管理サーバ100aに送信させる。
10

図12は、図9に示すプリントシステムにおける管理サーバ100aの構成を示すブロック図である。図示のように、本実施形態のプリントシステムにおけるサーバ100aは、図1に示すプリントシステムの管理サーバ100と比べ、画像保管部120aと画像保管部120、画像検索部125aと画像検索部125、画像公開部130aと画像公開部1
15 30とが異なる以外は、他の各構成が同様であり、ここで、画像保管部120a、画像検索部125a、画像公開部130aの詳細についてのみ説明する。

管理サーバ100aの画像保管部120aは、ラボ1a別（正確的にはラボ1aのID別）にイベント写真画像のデータを保管するものであり、図13は、画像保管部120aにより保管されるデータの構成の例を示している。図示のように、画像保管部120aは、
20 各ラボ1aに対して、イベント毎にイベントのプログラムを示すデータAと、イベント写真画像のデータBとを保管する。なお、ここでは、ラボ1aにおいてデータAとデータBが送信されるようになっているが、例えば、ラボ1aにおいてデータBの作成をせず、ラボ1aからイベントのプログラムを示すデータAと、このイベントの全ての写真画像（前述の例では、150枚の写真画像）とを送信し、管理サーバ100aの画像保管部120
25 aは、送信されてきたイベント写真画像（上述の例では、150枚の写真画像）のタグ情報に含まれた撮影日時情報とデータAにより示されるプログラムとに基づいて、各々の写真画像が属する催物を判別して自動的にデータBを作成して保管するようにしてもよい。

画像検索部125aは、テレビ機50から送信されて郵便番号に基づいて、ラボDB114を参照して該郵便番号と合致する住所を有するラボ1aのラボID（該当するラボ1
30 aが複数ある場合、これらの複数のラボ1aのラボID）を検索すると共に、画像保管部

120 a から、検索したラボ ID と対応付けて記憶されたイベント写真画像に関するデータ A およびデータ B を読み出して画像公開部 130 a に出力する。

画像公開部 130 a は、まず、画像検索部 125 a から今日された全てのイベントのリストを図 8 (a) に示すようにテレビ機 50 に送信する。ユーザがテレビ機 50 において表示されてイベントリストから所望のイベントを選択すれば、画像公開部 130 a は、選択されたイベントのプログラムを示すデータ (データ A) をテレビ機 50 に送信すると共に、ユーザがテレビ機 50 を介して送信してきた催物特定情報により特定された催物の画像を、画像検索部 125 a から供されたデータ B から読み出してテレビ機 50 に送信して表示させる。図 14 は、画像公開部 130 a により、図 11 に示す例のイベントのプログラムおよび写真画像をテレビ機 50 に表示させた画面を示している。図示のように、画像公開部 130 a は、テレビ機 50 の画面を時間選択領域 A、プログラム表示領域 B、画像表示領域 C の 3 つの領域に分け、時間選択領域 A においては、ユーザがテレビ機 50 のリモコンを用いて操作バー A1 を図示 X 方向に移動させることができ、プログラム表示領域 B には、図示 X 方向を時間の経つ方向としてイベントのプログラムを表示されている。ここで、操作バー A1 の位置 (即ちイベントにおける催物の実行時間) が、催物を特定する催物特定情報に相当し、画像公開部 130 a は、テレビ機 50 から送信されてきた操作バー A1 により示される時間に実行される催物の写真画像を画像表示領域 C に表示させるようにしてイベント写真画像を公開する。図 14 は、ユーザにより、操作バー A1 が催物「玉入れ」の実行時間 (9:30~10:00) に移動されており、画像公開部 130 a は、「玉入れ」のイベント写真画像を画像表示領域 C に表示させた例を示している。なお、図示の例では、操作バー A1 により示される時間に対応するイベント写真画像を 1 枚のみ表示させるようにしているが、操作バー A1 により示される時間の前後の複数枚を表示させるようにしてもよい。

このように、本実施形態のプリントシステムによれば、管理サーバ 100 a の画像公開部 130 a は、テレビ機 50 を介してユーザが送信してきた催物特定情報 (ここでは実行時間) により特定される催物のイベント写真画像をテレビ機 50 に送信するようにすることによって、ユーザが多数のイベント写真画像から自分の関心のあるイベント写真画像を探す時間を短縮することができ、便利である。

なお、本実施形態のプリントシステムにおいて、催物特定情報として催物の実行時間を用いたが、大きな町で行われた祭りなどのような、異なる場所で異なる催物が同時に実行

されるイベントの場合において、撮影場所を催物特定情報とするようにしてもよい。この場合、例えば、管理サーバ100aの画像公開部130aは、図15に示すように、テレビ機50の画面左部分に町の地図（催物が実行される場所に番号が付与されている）を表示させると共に、テレビ機50のリモコンを介してユーザが指定した番号の場所において
5 行われた催物のイベント写真画像を画面の右部分に表示させるようにすればよい。勿論、この場合、管理サーバ100aの画像保管部120aは、各々のイベント写真画像と、その催物の実行場所とを対応付けて記憶する必要があるが、管理サーバ100aにおいて、各々のイベント写真画像のタグ情報に含まれるGPS情報を解析してイベント写真画像の撮影場所を得て当該イベント写真画像の催物の実行場所とするようにしてもよいし、ラボ
10 1aからイベント写真画像をアップロードするときに、各イベント写真画像の属する催物の実行場所をアップロードするようにしてもよい。

上述において、本発明の写真サービスシステムの望ましい実施形態について説明したが、本発明は、上述した実施形態に限られるものではなく、本発明の主旨を変えない限り、様々な変更、増減を加えることができる。

15 例えば、本実施形態のプリントシステムにおいて、発注端末としてインターネットテレビ機を用いたが、本発明の写真画像サービスシステムの発注端末としては、管理サーバにアクセスでき、イベント写真画像を注文する操作を行うことができるものであれば、パーソナルコンピュータ（パソコン）や、携帯電話などいかなる端末機器であってもよい。

また、イベント写真画像を公開する際に、発注端末の特性に応じて画像を表示する形態
20 にさらに工夫を加えるようにしてもよい。例えばパソコンはキーボード、マウスなどを入力デバイスとし、イベント写真画像の選択や、催物の特定などの操作が便利であるが、テレビ機の場合は、入力デバイスとして通常リモコンしかない。そのため、例えば、サーバ側においてイベント写真画像を撮影時間に基づいて時系列にソートしておくと共に、イベント写真画像をテレビ機に表示させる際に、図16（a）に示すように、画面上に操作バ
25 ーA1を設け、操作バーA1の位置に対応する時間のイベント写真画像を表示させるようにすることができる。具体的には、例えば、ユーザがリモコンの「進む」ボタンを押下すれば、操作バーA1が図中矢印方向に進み、表示されるイベント写真画像が、操作バーA1が移動される前に表示されていた画像の次に撮影した画像に切替わるようにすればよい。

また、イベント写真画像を1枚ずつ表示させる代わりに、図16（b）に示すように複
30 数枚ずつ（図示の例では4枚ずつ）表示させるようにしてもよい。この場合においても、

同じように操作バーA1の移動される位置に応じて表示する写真画像を切り替えるようにすればよい。なお、表示する写真画像を切り替える形態としては、1枚ずつ切り替えるようにしてもよいし、複数枚切り替えるようにしてもよい。具体的には、例えば、リモコンの「進む」ボタンが一度押下され、操作バーA1が進むことに従って、表示中の4枚の写真画像をこの4枚の前に撮影した4枚の写真画像に切り替えるようにしてもよいし、「進む」ボタンが一度押下されると表示中の4枚のうちの最も先に撮影した写真画像（例えば図中画像D）を、この4枚のうちの最も後に撮影した写真画像（例えば図中画像A）の次に撮影した写真画像（例えば画像AA）に切り変えて、図16（c）に示すように表示させるようにしてもよい。

- 10 さらに、図16（b）に示すように一度に複数枚の写真画像を表示させるとき、操作バーA1以外に、各画像（図中A、B、C、D）の表示領域に対して夫々操作バーを設け、操作バーが動かされた画像が切り替わるようにしてもよい。

また、上述の各表示の形態を選択可能にして、ユーザにより選択された表示形態を表示するようにしてもよい。

- 15 また、操作バーの移動操作は、「進む」、「戻る」に限らず、リモコンにある任意のボタンに操作バーを移動させる機能を割り当てるようにしてもよい。この場合、ユーザが利用しやすいように、例えば、リモコンとテレビ機本体との赤外線通信機能を利用して、ユーザが使用するリモコンの機種を取得し、この機種に対応するリモコンの操作の仕方を画面上に表示させるようにしてもよい。

- 20 また、上述した実施形態のプリントシステムにおいて、特徴画像としての顔写真画像が予めテレビ機に記憶されており、テレビ機から管理サーバに送信されるようになっているが、本発明の写真画像サービスシステムにおける発注端末の被写体特定手段（特徴画像を管理サーバに送信する手段）は、必ずしも発注端末の表示手段などの他の構成と同じ筐体に設けられたものである必要がない。例えば、テレビ機から管理サーバにアクセスした際
- 25 に、管理サーバからの特徴画像送信要求に対して、ユーザはテレビ機からではなく、手持ちの他の通信機能がある端末装置（パソコン、携帯電話機など）を用いて、特徴画像を電子メールの添付ファイルとして管理サーバに送信するようにしてもよい。この場合、管理サーバにおいて、ユーザ登録させる際にメールアドレスも登録させるようにし、認証されたユーザに対しては、該ユーザのユーザIDに対応したメールアドレスを有する電子メールの添付ファイルを受信するようにすればよい。さらに、特徴画像は、予め被写体特定手
- 30

段に記憶しておく必要がなく、例えば、カメラ付きの携帯電話機を被写体特定手段として用い、管理サーバから特徴画像の送信が要求された際に、目的被写体を撮像して管理サーバに送信するようにしてもよい。こうすることによって、予め特徴画像が用意されていなくても、迅速に特徴画像を送信することができ、目的のイベント写真画像を便利に取得することができる。

また、特徴画像は1つの被写体を撮像したものに限らず、複数の被写体、例えば、複数の人の顔を撮像した写真画像であってもよい。この場合、管理サーバ側において、特徴画像に存在する任意の被写体が写ったイベント写真画像を目的のイベント写真画像として検索して公開するようにしてもよいし、特徴画像に存在する全ての被写体が写ったイベント写真画像のみを目的のイベント写真画像として検索して公開するようにしてもよい。

また、上述した実施形態のプリントシステムにおいて、本発明の主旨を分かりやすくするように、イベント写真画像をプリントで提供する態様で説明したが、本発明の写真画像サービスシステムにより提供されるイベント写真画像のサービスは、プリントに限らず、CD-Rなどの記録媒体に記録して提供したりするなどであってもよい。

また、本実施形態のプリントシステムにおいて、管理サーバは、ラボからアップロードされてきた画像に対して画質アップなどの処理を行っていないが、例えば、アップロードされてきたイベント写真画像に対して、色補正処理、赤目除去処理、サイズ変換処理などのオプション機能を管理サーバに設けてもよい。

また、課金の形態も本実施形態のプリントシステムに挙げた例に限られることがなく、例えば、ユーザとラボ間の直接の課金処理を無くし、管理サーバ側で全ての課金処理を行うようにしてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の写真画像サービスシステムの実施形態となるプリントシステムの構成を示すブ

ロック図

【図2】

図1に示すプリントシステムにおけるラボ1の構成を示すブロック図

【図3】

図1に示すプリントシステムにおける管理サーバ100の構成を示すブロック図

【図4】

図 1 に示すプリントシステムにおけるインターネットテレビ機 5 0 の構成を示すブロック図

【図 5】

図 1 に示すプリントシステムの動作を示すフローチャート

5 【図 6】

図 2 に示すラボ 1 のプリント処理の動作を示すフローチャート

【図 7】

図 3 に示す管理サーバ 1 0 0 の画像保管部 1 2 0 により保管されるイベント写真画像の構成例を示す図

10 【図 8】

インターネットテレビ機 5 0 の表示画面の例を示す図

【図 9】

本発明の写真画像サービスシステムの他の実施形態となるプリントシステムの構成を示すブロック図

15 【図 1 0】

図 9 に示すプリントシステムにおけるラボ 1 a の構成を示すブロック図

【図 1 1】

図 1 0 に示すラボ 1 a によりアップロードされるデータの例を示す図

【図 1 2】

20 【図 9 に示すプリントシステムにおける管理サーバ 1 0 0 a の構成を示すブロック図

【図 1 3】

図 1 2 に示す管理サーバ 1 0 0 a の画像保管部 1 2 0 a により保管されるイベント写真画像の構成例を示す図

【図 1 4】

25 インターネットテレビ機 5 0 の表示画面の例を示す図（その 1）

【図 1 5】

インターネットテレビ機 5 0 の表示画面の例を示す図（その 2）

【図 1 6】

インターネットテレビ機 5 0 の表示画面の例を示す図（その 3）

30 【符号の説明】

	1, 1 a	ラボ
	2, 2 a	画像入力部
	4, 4 a	記憶部
	6, 6 a	制御部
5	8	課金処理部
	10	通信部
	20, 20 a	コンピュータ
	30	プリンタ
	50	インターネットテレビ機
10	55	通信部
	60	表示部
	65	記憶部
	70	リモコン
	100, 100 a	管理サーバ
15	105	通信部
	110	認証部
	112	ユーザDB
	114	ラボDB
	120, 120 a	画像保管部
20	125, 125 a	画像検索部
	128	抽出部
	130, 130 a	画像公開部
	140	出力制御部
	150	課金処理部
25	【書類名】	図面
	【図1】	
	★	
	【図2】	
	★	
30	【図3】	

★

【図 4】

★

【図 5】

5 ★

【図 6】

★

【図 7】

★

10 【図 8】

★

【図 9】

★

【図 1 0】

15 ★

【図 1 1】

★

【図 1 2】

★

20 【図 1 3】

★

【図 1 4】

★

【図 1 5】

25 ★

【図 1 6】

★

30

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 地域に限定されるイベントの写真画像を効率良く提供する。

【解決手段】 各ラボ1は、所在地域のイベントの写真画像を取得して管理サーバ100にアップロードする。管理サーバ100は、イベント写真画像と、このイベント写真画像をアップロードして得たラボ1の所在地域を特定する地域特定情報とを関連付けて保管する。ユーザがインターネットテレビ機50を介して所望するイベント写真画像の郵便番号を管理サーバ100に送信する。管理サーバ100は、インターネットテレビ機50から送信されてきた郵便番号と合致する地域のラボ1からアップロードされたイベント写真画像を検索してテレビ機50に送信して選択させると共に、ユーザが選択したイベント写真画像をプリントする出力指示を作成してラボ1に送信してプリントを行わせる。

【選択図】 図1